

私が同志社女子大学を志望校と決めた理由

私は食物アレルギーを患っていて、将来は食に関する仕事がしたいと思っていました。管理栄養士という職業を知り、大学探しを始めたところ、同志社女子大学を見つけ、志望校に決めました。

受験勉強の進め方【1学期】

管理栄養士にしようと思ったのが5月で、受験勉強を開始したのは6月でした。6月から個別の塾に入り、週に1回塾に通っていました。1学期の間は単語の単語と古典単語はある程度覚えていこうにしました。英語は文法や、現代文は現代文の読み方、生物は生物基礎から勉強していました。英語は中学英語から復習しました。単語は学校の行き帰りの電車で覚えていました。

受験勉強の進め方【夏休み】

塾の課題を淡々とこなしてました。量が99いので、半日かけて1日分の課題を仕上げ、その後は自分でやりたい事を勉強してました。夏休みの内は全ての教科の基礎を終わらせておくことは大事だと思えます。

受験勉強の進め方【2学期～入試直前】

基礎が仕上がって、赤本に取り組み始めました。最初は中点点数も伸びたんですが、間違えた所を参考書で確認し、次は絶対に間違えないようにしようと心がけていました。参考書を何冊も買い、どの問題形式でも解けるようにしていました。入試直前は覚えていない所を紙に書いてラミネート紙にして、お風呂で覚えていました。

受験期に気を付けていたことやスランプの対処法

自分を慰めたいように、たまに同志社女子大学のレポートを見てやる気を上げていました。休憩も必要なので、夜ご飯を食べた後は少しだけYoutubeで好きなYoutubeを見て元気をもらっていました。スランプの時は勉強を一切していませんでした。無理やり勉強しても頭に入らないからです。そうすると自然にやりたい、やらなければいけないという気持ちが出てくるので、そこから再勉強を開始していました。

受験生のみなさんへ

受験の年は本当に辛いです。辛いけれど、合格した時の達成感と嬉しさは何にも変えることが出来ないものの力で、せむせむの感覚を味わってほしいです。私は公募推薦が一旦落ちたけれど、一般で合格をいただいたので、諦めなければ必ず合格できる事が出来ると思います。

